

女子ホッケーU21日本代表チーム オーストラリア遠征 (Canberra)

日付	2020年2月23日 18:00～		
場所	ACT Hockey Stadium	天候	晴
試合	第2戦	通算結果	日本 0勝 1敗 1分

Country		RESULT				Country	
日本 U21 JAPAN U21	1	0	-	2	5	オーストラリア AUSTRALIA	
		1	-	0			
		0	-	1			
		0	-	2			

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
30	1	青木 珠美			
X	3	尾本 桃子			
X	4	足立 依鞠			
X	5	立岩 奈那子			
X	6	岸 明日香			
X	7	佐野 優水			
7	8	小林 久留海			
X	9	小早川 志穂			
7	10	高島 瑠唯			
X	11	中込 紅莉			
X	12	中島 理子			
7	13	佐守 風香			
X	14	松本 愛理			
X	15	佐々木 杏果			
X	16	河合 珠音			
7	17	大類 かなな			
9	18	大塚 美季			
DNP	19	五島 千那美			
10	20	真田 遥果			
DNP	21	西永 空			
H. Coach	小林 和典				
Coach	久我 晃広				
UMPIRE	BROWN Nicola				

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
3	1	SHAND Hattie			
X	3	COLASURDO Isabella			
4	4	SCHONELL Courtney			
X	8	BLAMEY Morgan			
X	10	MATHISON Morgan			
X	12	UTRI Aisling			
4	13	COLWILL Claire			
X	14	JAMES Carly			
3	15	ARNOTT Alice			
X	17	GIBBS Annie			
X	18	REITH-SNARE Eva			
X	19	ROCKLIFF Renee			
X	20	SMITH Maddison			
4	22	de BROUGHE Emma			
X	23	HARRIS Ruby			
5	24	UTRI Ciara			
30	29	HAMMOND Amy			
X	32	ASTBURY Hannah			
Coach	WHITE TIM				
Manager	WINCH Camilla				
UMPIRE	ROBERTSON Kristy				

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	21	小早川 志穂	FG	1-2

Team	Minute	Name	Action	Score
AUS	9	UTRI Aisling	PC	0-1
AUS	10	JAMES Carly	PC	0-2
AUS	41	ROCKLIFF Renee	FG	1-3
AUS	55	SCHONELL Courtney	FG	1-4
AUS	60	BLAMEY Morgan	FG	1-5

第1Q 日本のセンターパスで試合が開始される。日本は昨日同様、立ち上がりから高い位置でプレスを仕掛ける。2分にはPCを獲得するが、これを守り切ったオーストラリアはすぐにPCを取り返す。これを#14松本の好セーブで守った日本は反撃に転じ、サークルトップFHから早いリスタート、そのままサークルに持ち込み#9小早川がリバーパスシュートを放つが、GKに阻まれる。さらにPCを獲得するがこれも決まらない。激しい攻め合いの中、オーストラリアは9分、PCを取得すると、#12 UTRIがゴール右中段にフリックシュートを決め先制する。さらに10分にもPCから#14 JAMESがリバウンドを押し込み2点差とする。

第2Q 追いつきたい日本は17分、フィールド中央を見事なパスワークで突破すると、#5立岩がヒットシュート、惜しくもGKにセーブされる。さらに21分、センターライン付近で#9小早川がボールを奪いそのまま単独ドリブル、右サイドからゴール左側へ突き刺し、1点差とする。勢いに乗った日本は22分にPCを獲得する。相手のフライングでDFが少なくなるも、チャンスをモノにすることができない。さらに何度も相手ゴール前にボールを運ぶが、決定打を放つことができない。そのまま1-2で前半を終了する。

第3Qはほぼ日本のペースで試合が進む。37分には#10高島が左サイドからリバーパスシュートを放つが決めきれない。ところが41分、自陣右サイドでボールを奪われるとあっという間にサークルイン、右45度からのシュートをGKの目の前で#19ROCKLIFFにタッチされ、3点目を献上する。日本はその後41分、42分、44分と立て続けにPCを獲得するが、相手DFに阻まれ差を縮めることができない。

第4Q 何とか追いつきたい日本は、果敢に相手陣へ攻め上がる。46分に今試合8本目となるPCを獲得するが、ヒットが浮いてしまい得点ならず。54分には左からの打ち込みで#18大塚が反応しワントラップで滑り込みながらリバーパスシュートを放つが決めきれない。これに対してオーストラリアは55分、自陣23mラインからドリブルで持ち上がり、3人でパスをつなぎサークルイン、最後はゴール前でフリーとなった#4SCHONELLIに流し込まれ4点目を挙げる。さらに試合終了直前、右サイドから崩され、ゴール前にラストパス。これを#8BLAMEYに押し込まれ5点目を挙げる。そのまま試合が終了し1-5で敗戦となった。

得点差こそついたものの、内容的には互角なものであり評価できるゲームであったと考えられる。しかしながら、相手の速攻に対する守備と、何よりもサークル内での勝負強さが大きな課題となった。

日本	12	シュート数	11	オーストラリア
	6	PC数	5	